



ご挨拶

本日は“*A-Winds 26*”2008年 春の演奏会にお越し下さり誠に有難う御座います。「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」のお城の麓“やまと郡山城ホール”で皆様方にこうしてお逢いすることができましたことに、*A-Winds* 団員一同、心より感謝しております。

1999年10月の発足と同時に活動を始めて以来、1999年秋の“デビュー演奏会”を始めとする、四季折々に開催する我々、*A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラの定期演奏会も、おかげさまで9年余の間に26回目の演奏会を迎えることができました。これも我々、*A-Winds* の活動そして音楽をこよなく愛して下さった皆様方の御指導、御支援あつてのことと感謝しますとともに、団を代表しまして心より厚く御礼申し上げます。

吹奏楽のオリジナル作品を中心に取り上げることを活動方針に掲げ、作曲家の方々を、実際に合奏練習にお招きして、作曲家自身から作品の生い立ちや、楽曲の紐解き解説を聞きながら合奏指導を受けたりと、様々な啓蒙に取り組み活動してまいりました。

時が経つのは早いもので、ちょうど4年前、真っ赤な赤い花柄の服を着た、初々しい学生が、入団の挨拶する姿を、まるで昨日のようにおぼえています。そんな感傷にもひたりつつ、今回は、私の大好きな作曲家のA-リードの作品から“香菜絵”実行委員長の学生生活の有終の美を飾る、彩り鮮やかなSAXのSOLO演奏を目玉に、様々な情景音楽を取り揃えたプログラムでお届けします。

50人の奏でる音楽が、いつまでも皆様方の心の中で、鳴り響き続ける音楽でありますようお願いを込め、団員を代表しまして一句詠ませていただきます。

バラードと 恋をおぼえて 一人立ち

今後とも、温かい御指導、御支援の程、宜しく願い申し上げます。

A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷昌克

*

本日は“*A-Winds 26*”2008年 春の演奏会にご来場たまわり、ありがとうございました。今回の演奏会は、「*A-Winds*の音楽でみるいろいろな世界」というテーマで皆様に素敵な音楽をお届けいたします。

第1部は神話、第3部はある国の情景をもとに作られた吹奏楽オリジナル曲をご用意しました。曲の前にお話を少し入れて、あとは私たちの音楽でそれぞれの世界を思い浮かべながら楽しんでいただければと思います。

第2部のアンサンブルステージでは、それぞれのパートが趣向を凝らし、各パートの良さを皆様に伝えられるよう演奏いたします。

本日も越させていただきました皆様に素敵な世界を感じていただけるよう、団員一同心をこめて演奏してまいりたいと思います。どうぞ最後までお楽しみください。

“*A-Winds 26*”2008年 春の演奏会 実行委員長 田中香菜絵



ご案内

“*A-Winds 27*”2008年 夏の演奏会

2008年6月8日(日) 14:00開演 いかろがホール大ホール

『時間旅行・時空を超える旅』に行ってみませんか？ SFみたいな話ですけど、行けるんですよ、「音楽」でなら、ね。

今よりも、もっともっと日本中がキラキラしてた、激動の時代=1970年代 へ。

18～19世紀のカリフォルニア へ、そして18世紀のイギリス へ。

“*A-Winds 27*”では、そんな曲をご用意して、団員一同、皆様のお越しをお待ちしております。

“*A-Winds 27*”2008年 夏の演奏会 実行委員長 吉村由夫



A-Winds 奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo	佐藤 由加里	Horn	久野 耕三 #
Flute	佐藤 司 ♪		次田 哲平
	魚谷 陽子		小林 計昭
	大塚 由起		大田 雅美 ☆
Oboe	東海林 毅	Trumpet	魚谷 昌克
	篠藤 文子 ☆		表 恭子
	矢倉 菜穂 ☆		吉川 茂宏
E♭ Clarinet	長尾 恭子		篠木 章江 #
B♭ Clarinet	畑澤 淳子 ♪		山本 洋介
	竹村 明恵		小倉 明花 ♪
	栗原 茂美		乙川 佳世
	大江 奈々		大西 伸幸 ☆
	後藤 咲妃	Trombone	萱原 淳嘉
	森本 幸恵 ♪		小泉 文浩
	木村 尚也		田中 眞二
	辻田 綾子 ☆		鈴木 恵子
Alto Clarinet	大西 晴己	Euphonium	大西 善郎
Bass Clarinet	小山 優美	Tuba	三次 博子 ☆
Bassoon	萱原 美華子	St. Bass	佐藤 良一 ☆
	満江 孝文	Percussion	平井 晶
Alto Saxophone	島田 博一 ♪		荒井 智子
	田中 香菜絵 ♪		谷口 麻子
Tenor Saxophone	初岡 和樹 ♪		辻 歩
	宮本 祐輔		久保 寛美 ♪
Baritone Saxophone	吉村 由夫 ♪		川本 理恵
			豊川 史香 ♪
		Piano	八木 真木

☆エキストラ

◇休団

♪A-26 演奏会実行委員

#アンサンブルステージ実行委員



A-Winds メンバー募集

●募集パート

- ・フルート 1名
- ・オーボエ (イングリッシュ・ホルン) 2名
- ・B♭クラリネット / 2名
- ・ファゴット 1名
- ・ユーフォニウム 1名
- ・チューバ 3名
- ・コントラ・バス 2名

- A-Winds*の活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
- ご自分で楽器を準備できる方
- 全ての活動に賛同頂ける方
- 18歳以上の方
- 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a-winds@amber.plala.or.jp



2008年3月16日(日) 13:30開場 / 14:00開演
やまと郡山城ホール大ホール

主催 ● *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ
後援 ● 大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



プログラム

◆第1部

ヴィヴァ・ムシカ!(音楽万才) 指揮:魚谷昌克 VIVA MUSICA!

作曲：アルフレッド・リード / Alfred Reed

出版：ピエドモント・ミュージック・カンパニー / Piedmont Music Company, INC

この曲はシカゴにあるヴァインダークック音楽大学の依頼によって作曲されました。

タイトルのヴィヴァ・ムシカ!〜音楽万才〜というタイトルは、リードが、ヴァインダークック

音楽大学が長年優れた音楽の先生を養成し素晴らしい成果をあげていることをた

たえ、また音楽教育にたずさわる先生方すべてをたたえる意味でつけたそうです。

ノアの箱舟

NOAH'S ARK

作曲：ベルト・アッペルモント / Bert Appermont

出版：ベリアト・ミュージカル・プロジェクト / BERIATO Musical Projects

1. お告げ 2. 動物たちのノレード 3. 嵐 4. 希望の歌の4曲からなるこの曲は、アッペルモントカレマンズ音楽院(ヴァンデルローストのクラス)の卒業のための課題曲として作曲したものです。旧約聖書に出てくる『ノアの箱舟』のストーリーに題材を求めたもので、壮大なストーリーを解りやすく表現しています。

1. お告げ

正直者のノアに「洪水が近いのでそれに備えて大きな箱舟を作るように」との信託が与えられました。厳かなムードを湛えた短めの導入部です。

2. 動物たちのノレード

ノアの呼びかけに応じて、動物たちが集まってきます。木管楽器群が動物たちのゆったりとした歩みを表現しています。

3. 嵐

お告げのとおり、すさまじい嵐はやってきました。洪水が押し寄せて地上は水没してしまいます。

4. 希望の歌

嵐を乗り越えたノアと動物たちは水がひいた後の地上に戻って新しい生活を始めます。クラリネットが「希望」のテーマを歌い始め、次第にバンド全体に広がっていきます。

三日月に架かるヤコブのはしご 指揮:吉崎直之 JACOB'S LADDER TO A CRESCENT

作曲：真島俊夫 / Mashima Toshio

出版：デ・ハスケ・パブリケーション / De Haske Publications

『ヤコブのはしご』とは、旧約聖書の「イサクとヤコブ」のエピソードに登場する「天への梯子」のことで、別名「天使の梯子」とも呼ばれています。

英語で“Jacob's Ladder”は、古くから親しまれている言葉で、「綾取りの梯子」「雲間から射す光の筋」等々、いろんな意味を持っていますが、広く“人間の憧れの象徴”と理解するのが正しいようです。

この曲は、現代日本の吹奏楽界において“チョー売れっ子”の作曲者が、1993年「関西学院大学応援団総部吹奏楽団」の40周年記念に委嘱されて書いたものです。『三日月』は、同大学のシンボルマークでもあります。

◆第2部 アンサンブルステージ(連続企画)

●トランペットパート

ソノラン砂漠の調和

Sonoran Desert Harmonies

作曲：エリック・エワイゼン / Eric Ewazen

出版：Triplo Press

●サクソ&ピアノパート

映画“風と共に去りぬ”より「タラのテーマ」

Tara's Theme

作曲：マックス・スタイナー / Max Steiner

編曲：大島忠則 / Tadanori OHSHIMA

出版：T&T Publisher

●リバーダンスより

「キャスリーン伯爵夫人 / Countess Cathleen」

「ファイアーダンス / Fire Dance」

作曲：ビル・ウイーラン / Bill Whelan

編曲：大島忠則 / Tadanori OHSHIMA

出版：T&T Publisher

◆第3部 指揮:吉崎直之

●バラード(ソロ アルトサクソとバンドのための)

BALLADE (for Solo E♭ Alto Saxophone and Band)

作曲：アルフレッド・リード / Alfred Reed

出版：サザン・ミュージック / Southern Music Co.

200曲以上もの吹奏楽作品を創り、指揮者としての活動も活発であり、2005年9月

に惜しまれつつもこの世を去ったアルフレッド・リードは、20世紀を代表する音楽家の一人とされています。今回の“*A-Winds 26*” 2008年 春の演奏会も、彼の作品で幕を上げます。

しかし、その膨大な作品の中にも、サクソスをフィーチャーした曲は(知られている限り)2001年に発表された『5つのカメオ』と、その半世紀も前に書かれた『バラード(譯詩曲)』のたった2曲しかありません。

この演奏会の実行委員長でもあり、3月限りでA-Windsを退団する“田中香菜絵”がソロをご披露させていただきます。

イーストコーストの風景

East Coast Pictures

1 楽章：シェルターアイランド / Shelter Island

2 楽章：キャッツキル山脈 / The Catskills

3 楽章：ニューヨーク / New York

作曲：ナイジェル・ヘス / Nigel Hess

出版：フェイバー・ミュージック / Faber Music

3つの短い「絵画」からなるこの作品は、英国の作曲家ナイジェル・ヘスがアメリカ

東海岸を旅した時に感じた、その風土や人々からうけた感動を音楽にしたもので、吹奏楽で綴る「アメリカ東海岸への旅」です。

1 楽章：シェルターアイランド

この島は、ニューヨークから車で東へ数時間行ったところにあります。夏場は行楽客で賑わいますが、冬になると、大西洋の大波が荒れ狂い、霧にすつまりと包まれ、激しく雨が降りきるばかりで人影は全くなくなってしまいます。この「絵画」は、そんな冬の週末のシェルターアイランドの思い出を曲にしたものです。

2 楽章：キャッツキル山脈

ニューヨークの北方にキャッツキル山脈があります。そこは静けさ、力強さ、平穩、そして威厳に満ちた場所であり、一度そこを訪れた人は、必ずもう一度行きたくなる所です。この楽章では英国の作曲家らしくホルネットが効果的に用いられています。

3 楽章：ニューヨーク

大都会ニューヨーク...なかでも摩天楼がそびえ立ち、光と音が交差し、24時間絶え間なく鼓動を続ける街、マンハッタン的情景を描いています。そして曲はエネルギーギッシュな街にふさわしいフィナーレを迎えます。

司会

司会：小川貴子



プロフィール

吉崎直之

奈良市立二名中学校、京都市立堀川高等学校音楽科(現京都市立音楽高等学校)、京都市立芸術大学音楽学部卒業。トランペットを八木茂夫、北村源三、藏野雅彦、有馬純昭の各氏に、指揮法を伊吹新一に師事。大学在学中から、フリーランス奏者として活動。京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、宝塚歌劇場管弦楽団、広島交響楽団、京都フィル・ハーモニー室内合奏団等にエキストラ出演。京都JEUUGIAトランペット講師、大阪ブラス・コンソートのコンサート・マスター、BREEZE BRASS BANDでの活動を経て、現在、ブラス・フェイヴァリッツ、ウインドカンパニー、JAPANアカデミー・トランペット・アンサンブルのメンバー。ヤマハ株式会社契約インストラクター。全日本学校音楽研究会講師。奈良県立高円高等学校音楽科トランペット主科講師。京都市教育委員会吹奏楽特別非常勤講師。賢明学院小学校、王寺ジュニアバンド・ハルモ、葛城市立白鳳中学校、山添村立山添中学校、香芝市立香芝中学校、奈良県立高円高等学校、平城高等学校、畝傍高等学校、京都市立紫野高等学校、白頭学院建国中・高等学校の各バンドを指導。天理音楽院講師。